

学校教育目標：学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの「三坂地っ子」の育成

皆さま、はじめまして。

令和4年4月、三坂地小学校に赴任いたしました、校長の安部ほすみでございます。

保護者、地域、並びに学校関係者の皆さま、御挨拶が遅くなりましたが、どうぞよろしくお願いいたします。

私は、令和4年3月まで、呉市教育委員会で11年間、教育行政に携わらせていただきました。特に、ここ数年、教育現場においては、コロナ対応やそれに付随して全国的に大きく動いたGIGAスクール構想への取組など、激しい変化の波が押し寄せてまいりました。久しぶりの学校現場勤務ということもあり、戸惑いもありますが、子供達の笑顔や元気な声、そして教職員が前向きに教育活動に向かう姿に、心躍らせ意欲が掻き立てられる毎日です。

そんな、自分の気持ちと、三坂地小学校が、子供達や教職員にとって、今まで以上に心躍らせ、チャレンジ精神に満ちあふれた躍動する学校であることを願って、この校長便りのタイトルを「躍動」といたしました。

本校の教育目標は、「学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの『三坂地っ子』の育成」です。

4月6日の始業式で、子供達に「自分の頭で考える」ことの大切さをお話しました。

自分の頭でしっかり考えると、学びは深まり広がって、学びいっぱいになります。すると、できた！分かった！もっと知りたい！という気持ちが心の中からわいてきて、笑顔いっぱい元気いっぱいの三坂地っ子になります。

自分の頭で考えると、その時点で、頭の中は主体的になります。これからの変化が激しい新しい時代においては、主体的であること、つまり今まで以上に自分で「考える力」が必要であると考えます。

新しい時代に求められる資質・能力の育成に向け、教育目標の実現を目指します。

終わりにになりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束は、まだ見込めません。本年度も様々な教育活動を、縮減あるいは中止せざるを得ないといった我慢の時間が続きます。子供達の安全・安心を最優先し、学校においては、国のマニュアルに沿って、手洗いの徹底、三密の回避、マスクの着用等、できる限りの感染対策を施しながら、必要な学びの保障に努めてまいります。

本年度も、三坂地小学校の教職員一丸となって、躍動する教育活動を展開してまいりますので、今後も、これまでと変わらぬご理解とご協力をお願い致します。



呉市立三坂地小学校 校長 安部ほすみ